



十年近く前のことです。ある高校の文化祭で生徒の川柳作品が展示してありました。

帰りたくない……

その川柳の正確な言葉は忘れてしまいましたが、「帰りたくないと言っている人は、帰る場所がある人だ」という内容でした。この句を読んだとき、ハッとしました。生徒の背景や気持ちが思い描かれるのと同時に、私たちは日々ありがたさに目をやることなく、わがままに不平不満を言っているだけではなかったのか、とこの句から改めて考えさせられたのです。

行きたくない、は行ける環境にある。食べたくない、は食べられる環境にある。したくない、はできる環境にあるからこそ言える言葉です。できるチャンスを与えられているのなら、そのことに感謝の気持ちを持ち、ありがたくチャレンジしてみよう。そんなことを一瞬のうちに思わせてくれる一句との出会いでした。

選択肢があるということはありがたいことです。選択肢がなければ、先の句では「帰りたくない」ではなく、「帰れない」という言葉になりますね。選択できる自由が与えられているのですから、断ることもできます。その場合も選択できる自由が与えられていることを認識して断ることができる、断り方も、断るときの自分自身の気持ちもずいぶん違ったものになるでしょう。

今日から中間考査が始まりました。「勉強したくない」と思っている人はいませんか？勉強できる環境にあるからこそ、そう思えるのですね。毎日、武力により混乱した海外の状況が報道されています。その状況下にある子どもたちは「勉強したくない」とは思わないでしょう。とても勉強できる環境ではなく、「勉強したくない」という選択肢を思いつくことはありません。

皆さんは勉強できる環境にあることに感謝して中間考査に取り組んでください。



校長 松川 明義



【行事予定】5月17日(火)から20日(金)：1学期中間考査

18日(水)：自転車点検

20日(金)：頭髪服装指導

23日(月)：生徒総会、生徒会長選挙



米工 HP